

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	72.8%					○
数学	59.8%	○				
英語	56.0%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%					○
書くこと	82.6%					○
読むこと	72.2%		○			
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%					○

【考 察】

- 新聞を読み、必要な情報を探し出す力がやや劣っています。今後は、新聞や雑誌、ポスターなどを読み、必要な情報を取捨選択し活用する力をつける指導を行っていきます。そのために、長い説明文や箇条書きの広告などの中から項目別に抜き出し、まとめるという学習を行います。また、選択肢の中から2つ選ぶのに1つだけしか選ばずに終わってしまっている生徒がいました。問題文を最後まで読み、条件に応じた答え方ができるように指導していきます。
- 封筒の宛名が正しく書けない生徒がいました。教科書の教材として指導し、さらに職場体験学習での礼状を書くという実践活動も行っていますが、定着率が低かったです。今後、繰り返し指導していきます。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%					○
図形	72.4%	○				
関数	40.8%	○				
資料の活用	56.3%	○				

【考 察】

- 数学的に説明する力が劣っています。誤答を見ると、説明する際の根拠が不足している生徒が多いことがわかりました。説明に必要な情報を的確に判断し、必要な情報をもとに筋道を立てて伝える学習が不足していたと考えられます。今後は、普段の授業に、根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを他者に伝える時間を設定し、説明する力を高められるよう取り組んでまいります。
- 全国と比較し、「資料の活用」の領域に大きな課題が見られました。語句の意味が理解できていないため、値を求められなかったことがうかがえました。また、硬貨を用いた確率を求める問題でも、出方を整理するための理解が不足していたことが考えられます。今後は、具体物を用いた操作活動などを取り入れ、生徒の理解が深まるよう指導してまいります。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%			○		
読むこと	55.6%		○			
書くこと	45.8%	○				

【考 察】

- 日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることがほぼできていました。しかし、来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く問題ができなかった生徒が多くいました。普段の授業において、適切な応答を相手に返せるよう、対話の中で理由を説明する時間を設定してまいります。
- 日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ることができました。一方、資料の内容を理解し、書き手の問いかけに対する自分の考えを書くことに苦手意識が見られました。今後は、資料を読んだ後、感想や意見、賛否など、自分の意見を理由も含めて書けるよう指導してまいります。そのために、普段の授業において、ペア活動でのやり取りを取り入れたり、意見や感想などを深めるための言語活動や書く活動を多く行ったりしながら、定着を図ってまいります。

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
中	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
3	東北中	30.4	50.0	17.4	2.2

(単位 %)

【考 察】

- 「計画を立てて勉強している」「どちらかといえば計画を立てて勉強している」と答えた生徒が8割いました。毎日、家庭学習ノートと生活学習ノートを提出することになっており、それらを担任などが点検し、コメントを書き入れ、励ましてきた成果が現れたものと考えます。特に、定期テストでは、各自の計画や取り組み状況を点検し、個に応じたアドバイスなどを続けてきたことで、自分で計画して学習する習慣が身についたと考えます。今後も現在の取り組みを継続し、学習意欲と自己マネジメント力の向上を図ってまいります。
- 取り組みがすばらしい中学生のノートを出身小学校に貸し出し、小中が連携して家庭学習の習慣化に取り組んでいます。今後も小中で連携し、学習習慣の確立を図ってまいります。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
3	東北中	19.6	47.8	28.3	2.2	2.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 2時間以上学習している生徒が7割近くおり、計画的に学習している生徒が多いです。毎週週末課題を出し、翌週に確認テストを行っているため、合格に向けて平日も学習していると考えられます。確認テストでは、定期テストや各種学習コンテストの対策も行うため、意欲的に取り組んでいます。今後も学力と学ぶ意欲の向上につながるよう取り組んでまいります。

○ 今年度は生活学習ノートに学習時間を可視化できる欄を設けたことで、生徒自身が自分自身の取り組みについて振り返ることが容易になりました。今後は、時間だけでなく、取り組む内容の充実が図れるよう支援してまいります。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全国	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8
3	東北中	4.3	6.5	21.7	34.8	13.0	19.6

(単位 %)

【考 察】

- 部活動や家庭での学習に取り組む時間も必要であるため、本校では読書週間と称して朝の読書の時間を設定しています。読書週間時に読む本は、普段手に取ることが少ない本に触れる機会を増やすため、委員会活動を活用し、図書室の本を各教室に貸し出すことで、読書への興味を高めるよう工夫しています。
- 本校では、給食の準備終了時から「いただきます」の挨拶までの時間に、本を読んで静かに待つことに取り組んでいます。また、学校司書や教職員から本の紹介を行うなど、本に対する興味をもてるように工夫しています。今後も読書活動の推進に向けて、引き続き取り組んでまいります。

4 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。

		全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
中	全国	79.8	17.2	2.7
3	東北中	84.8	15.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 1年生時は「書く」ことを嫌がる生徒が多かったので、「書く」ことへの抵抗をなくし、「書く」楽しさ、表現する喜びを味わえるよう教材を工夫し、書くことに取り組ませてきました。現在では、「書く」ことを嫌がる生徒は少なくなりました。今後も、生徒の実情にあつた「書く」楽しさを味わえる教材を考え、取り組んでまいります。
- 生徒が書いたものを毎回提出させ、添削しています。同時に、よい表現には下線をひき、よい点を具体的に伝えていきます。また、「書く」授業では、文種ごとに例文を作り、どのように書けばよいのかを示すようにしています。また、互いの作品を生徒同士で読み合う時間を多く設定していることで、よい刺激を受け、参考にする生徒が増えてきました。今後も引き続き取り組んでまいります。